



# NEW CONTEXT DESIGNER DG

## *DG FinTech Shift*



*Digital Garage Group*

# 2024年3月期 第2四半期 決算サマリー

## 第2四半期の税引前利益は大幅増益、決済/フィンテック領域事業が順調に進捗

Profit before tax increased significantly for 2Q of FY24.3 due to steady progress of the payment and Fintech-related businesses.

2024年3月期第2四半期までの連結業績は、決済事業とマーケティング事業を統合したプラットフォームソリューションセグメントの業績が、期初の通期見通しである税引前利益15%成長を上回って進捗したことに加え、投資先の公正価値評価が安定して推移したことから、前年同期比で大幅な増益となりました。

事業面においては、当社グループが掲げる“DG FinTech Shift”戦略が順調に進捗しております。戦略パートナーとの取り組みでは、資本業務提携先であるりそなグループと共同で、キャッシュレス化が遅れている医療業界に向けた新たな決済サービスの開発を開始したほか、B2B向け決済領域では、多くの法人顧客を持つパートナーとともに事業展開することにより、取り扱いが順調に拡大しております。

また、11月には、日本初のECパッケージ開発会社であり、ECシステム事業のパイオニアである株式会社システムインテグレータのECサイト構築事業部門を当社子会社として合併し、ECビジネス戦略事業会社「株式会社DGコマース」を設立することを発表いたしました。当社の主力事業である決済事業とマーケティング事業をブリッジングし、さらにEC事業者向けマーケティングツールや不正検知ソリューションとシームレスに連携することにより、新たな次世代型EC開発機能を実装することができたと考えております。

次世代テクノロジーにおける取り組みも進展しております。野村グループが出資するデジタルアセットカストディサービス会社「Komainu Holdings Limited」に出資を行い、当社子会社である株式会社Crypto Garageとの協業を開始いたしました。今回の提携では、両社の持つ高い知見と、国内において現在唯一B2B向け暗号資産交換事業者ライセンスを持つCrypto Garageの連携により、日本国内の法人・機関投資家に向け世界最高水準の暗号通貨サービスを提供していくものとなります。今後も決済事業領域の拡大に向けて、非連続領域である暗号資産分野においても継続的に取り組んでまいります。



林 郁

Kaoru Hayashi

代表取締役 兼  
社長執行役員グループCEO  
Representative Director,  
President Executive Officer  
and Group CEO

事業の順調な進捗に加え、前年同期に計上した公正価値評価損からの反動により大幅増益  
～収益は前年同期比53.6%増の22,370百万円、税引前利益は8,266百万円を計上～

### Profit showed a substantial increase due to solid performance of each business as well as the rebound from the fair value evaluation loss recorded in 2Q of FY23.3

～Revenue marked 22,370M JPY, +53.6% YoY and profit before tax recorded 8,266M JPY.～

2024年3月期第2四半期累計期間は、収益22,370百万円(前年同期比53.6%増)、税引前四半期利益8,266百万円(前年同期は6,642百万円の損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益5,617百万円(前年同期比は4,325百万円の損失)となりました。

前年同期は、投資先の公正価値評価損により大幅な損失を計上しましたが、当第2四半期累計期間は、重要KPIの一つである決済取扱高が伸長したこと等により、当社グループの事業基盤であるプラットフォームソリューション(PS)セグメントの業績が堅調に進捗したほか、投資先の公正価値が堅調に推

移したこと等から、税引前四半期利益は大幅な増益となりました。

また、ロングタームインキュベーション(LTI)セグメントでは、当社グループの中長期的な成長を牽引する新規事業への先行投資を継続し、新たな事業領域の創出を加速しているほか、グローバル投資インキュベーション(GII)セグメントでは、2028年3月期までの目標である「投資事業収入300億円以上」の創出に向けて、保有する有価証券の売却を進める等、中期経営計画における施策が進捗しております。

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2023.3期 FY23.3				2024.3期 FY24.3		23.3期 FY23.3	24.3期 FY24.3	前年同期比 YoY	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	2Q(累計)	2Q(累計)	%	増減額
<b>収益</b>	Revenue	<b>17,734</b>	<b>-3,170</b>	<b>7,769</b>	<b>7,738</b>	<b>13,187</b>	<b>9,183</b>	<b>14,564</b>	<b>22,370</b>	<b>53.6%</b>	<b>+7,807</b>
	Revenue in recurring business	6,002	6,144	6,362	6,620	6,336	6,455	12,146	12,791	5.3%	+645
	Revenue in operational investment securities	7,534	-7,301	-233	—	4,583	1,125	233	5,708	2350.2%	+5,475
	Other income	159	176	2,955	227	423	206	336	629	87.5%	+294
	Finance income	2,131	-1,090	-650	109	972	399	1,041	1,371	31.7%	+330
	Share of profit of investments accounted for using equity method	1,907	-1,099	-665	782	873	998	809	1,872	131.5%	+1,063
<b>費用</b>	Expenses	<b>6,530</b>	<b>14,676</b>	<b>12,986</b>	<b>9,760</b>	<b>7,008</b>	<b>7,096</b>	<b>21,206</b>	<b>14,104</b>	<b>-33.5%</b>	<b>-7,102</b>
	Cost of sales	2,622	2,495	2,642	2,555	2,683	2,538	5,117	5,221	2.0%	+103
	Loss on operational investment securities	—	—	6,009	1,917	—	—	—	—	—	—
	Selling, general and administrative expenses	3,758	4,112	3,992	4,314	4,167	4,403	7,869	8,570	8.9%	+701
	Other expenses	80	87	96	927	85	90	167	175	4.8%	+8
	Finance costs	70	7,982	468	47	72	66	8,052	138	-98.3%	-7,914
<b>税引前利益</b>	Profit before tax	<b>11,204</b>	<b>-17,846</b>	<b>-5,216</b>	<b>-2,023</b>	<b>6,179</b>	<b>2,087</b>	<b>-6,642</b>	<b>8,266</b>	<b>—</b>	<b>+14,908</b>
<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>	Profit attributable to owners of parent	<b>7,488</b>	<b>-11,813</b>	<b>-3,637</b>	<b>-1,090</b>	<b>4,096</b>	<b>1,521</b>	<b>-4,325</b>	<b>5,617</b>	<b>—</b>	<b>+9,942</b>

## プラットフォームソリューション PLATFORM SOLUTION

## 収益は前年同期比5.4%増の120億円、税引前利益は同17.3%増の33億円

Revenue marked 12.0 B JPY,+5.4%YoY and profit before tax increased to 3.3 B JPY, +17.3%

## 決済取扱高は前年同期比20%増の3兆円、取扱件数は同22%増の5.7億件と高成長を継続

The Transaction Volume marked 3T JPY, +20% YoY, and the number of transactions increased to 565M, +22%, maintaining high growth.

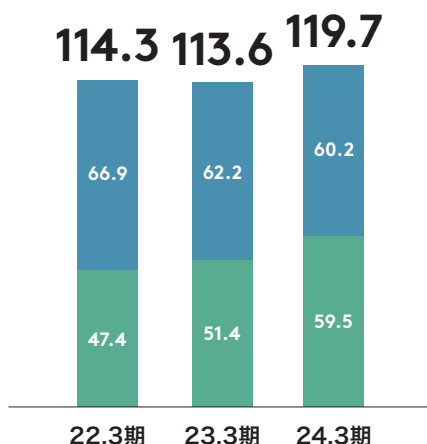
PSセグメントでは、Eコマース(EC)及び対面店舗等のB2C商取引に必要なクレジットカード決済をはじめ、QRコード決済、コンビニ決済等のあらゆる電子決済手段を提供する決済プラットフォーム及びインターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングを展開しております。マーケティングを活用した小売事業者等への集客による決済機会の拡大、決済プラットフォームにより蓄積される膨大な消費者購買情報を活用した新たなデータマーケティングの開発等、当社グループのコアアセットである決済プラットフォームを軸とした事業基盤の拡大及び持続的な収益成長に向けて取り組んでおります。

2024年3月期第2四半期累計期間は、収益11,966百万円(前年同期比5.4%増)、税引前四半期利益3,298百万円(前年同期比17.3%増)となりました。新型コロナウイルス感染症の収束を受け、旅行、外食関連をはじめとした決済取扱高が前年同期比で伸長しました。また、アライアンス戦略による加盟店開拓が順調に進捗しており、対面決済領域における総合小売店の取扱いが積み上がったこと等から、決済取扱高は3兆円(前年同期比19.7%増)となり、セグメント業績を牽引しました。また、決済とデジタルマーケティングの連携強化を企図した事業体制への移行及びサービス開発等を推進しました。



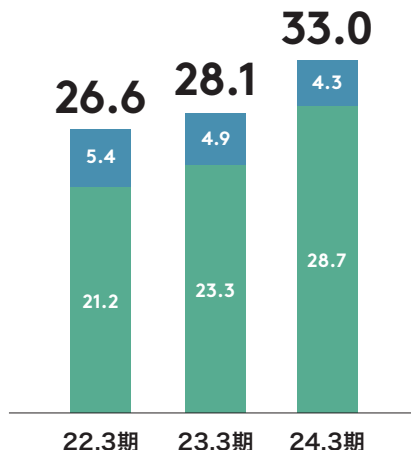
## 収益(2Q累計)

(単位:億円)



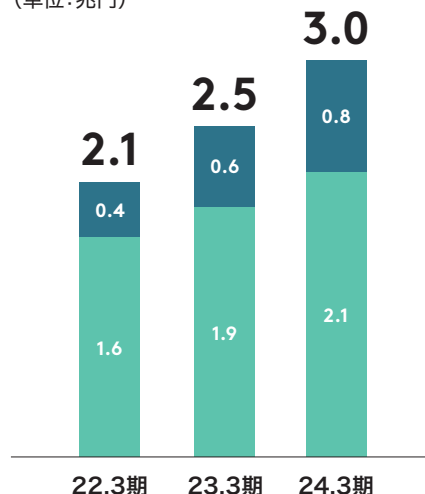
## 税引前利益(2Q累計)

(単位:億円)



## 決済取扱高(2Q累計)

(単位:兆円)



■ マーケティング事業 ■ 決済事業

■ 対面決済 ■ 非対面決済

## ロングタームインキュベーション LONG-TERM INCUBATION

### 収益は前年同期比6.5%増の26億円、税引前利益は同16.1%減の8億円

Revenue marked 2.6 B JPY, +6.5% YoY, and profit before tax decreased to 0.8 B JPY, ▲16.1%

#### 中長期的な成長を見据えた新規事業への先行投資を継続

Early-stage investment continues into new businesses continues, aiming for medium and long-term growth.

LTIセグメントでは、決済プラットフォームを軸とした強固な事業基盤及び(株)カカココムが運営する日本最大級のメディアにおいて有する顧客資産等を活用した戦略事業の開発及びインキュベーションを行っております。企業間取引(B2B)決済領域における新たなサービスのほか、各産業のDX化を支援するプロダクト開発による事業者の業務効率化及びキャッシュレス化の促進、次世代メディアの開発、暗号資産の社会実装を目指した事業開発等を行うことにより、プラットフォームソリューションの更なる高付加価値化及び成長加速を図るとともに、中長期的に企業価値を牽引する事業の創

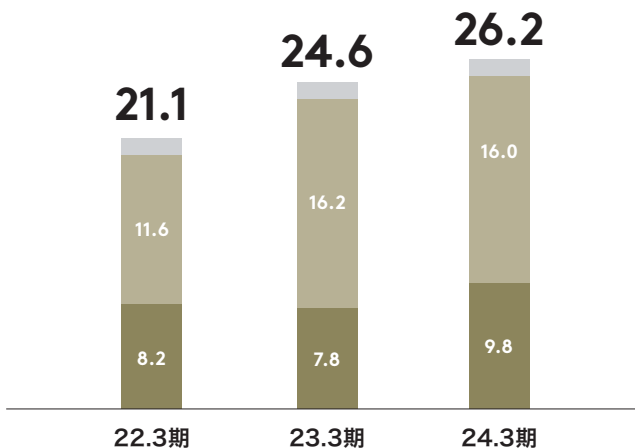
出に取り組んでおります。

2024年3月期第2四半期累計期間は、収益2,621百万円(前年同期比6.5%増)、税引前四半期利益829百万円(前年同期比16.1%減)となりました。当第2四半期は、新規事業への先行投資を継続し、当社グループにおける中長期的な成長を見据えた新たなサービスの開発及び推進に注力しました。足元では、B2B向け決済の取扱いの拡大や次世代不動産取引のDXエンゲージメントプラットフォーム「Musubell」の導入企業数が積み上がる等、新たな事業領域において成果が出始めています。



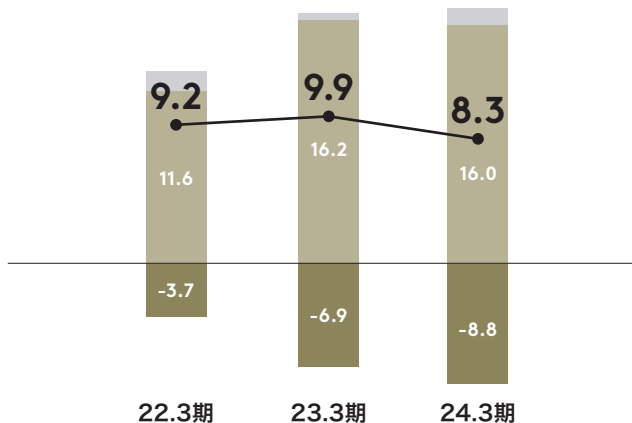
#### 収益(2Q累計)

(単位:億円)



#### 税引前利益(2Q累計)

(単位:億円)



一過性収益/利益 持分法収益/利益 事業収益/利益 税引前利益



## グローバル投資インキュベーション GLOBAL INVESTMENT INCUBATION

### 有価証券の売却及びファンド分配金等により投資事業収入25億円を創出

2.5B JPY of investment business income was generated from the sales of holding shares and cash distribution from funds.

#### 前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動によりセグメント業績は大幅増益

The segment performance showed a significant increase in profit due to the rebound from the fair value evaluation loss of the investee companies recorded in 2Q of FY23.3.

GIIセグメントでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。創業以来、北米・日本・アジア・欧州を中心に築き上げてきた独自のディールソースである「グローバルインキュベーションストリーム」のほか、当社グループが運営する日本初のシードアクセラレータープログラム「Open Network Lab」等により世界中の有望なスタートアップ企業へリーチするとともに、当社グループ事業との連携を一層深めることにより、当社グループ及び投資先の企業価値の最大化を目指しております。

2024年3月期第2四半期累計期間は、収益6,525百万円(前年同期比

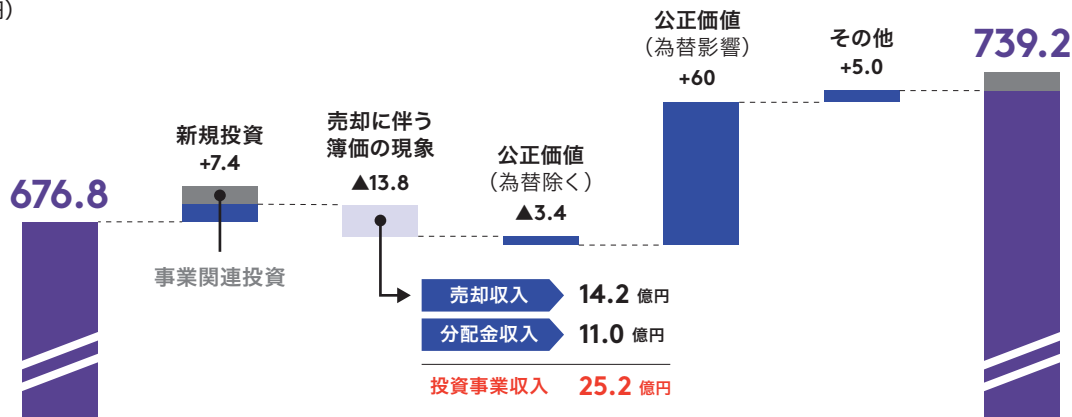
6,537百万円増)、税引前四半期利益5,502百万円(前年同期は877百万円の損失)、営業投資有価証券の残高は、73,924百万円(前連結会計年度末比6,248百万円増)となりました。前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動により大幅な増益となったほか、外国為替相場が円安傾向で推移したこと等により、外貨建て営業投資有価証券を中心に公正価値評価額が増加しました。また、中期経営計画において2028年3月期までの目標として掲げる「投資事業収入300億円以上」に対して、上場株式の売却及びファンドからの分配金受領等により、25億円の投資事業収入<sup>※</sup>を創出しました。



※投資事業収入：売却収入とファンド等からの分配金の合計

### 営業投資有価証券 増減内訳

(単位：億円)



2023年3月末

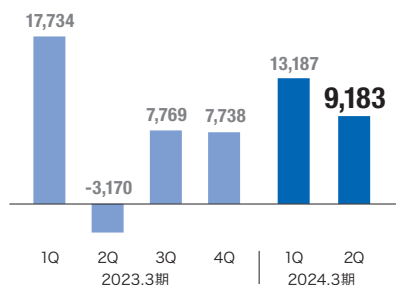
2023年9月末

# ◆ 業績の推移 [IFRS] Financial Results

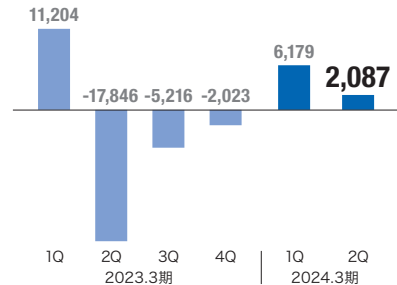
## 連結業績 Consolidated Performance

(単位:百万円 / JPY in Millions)

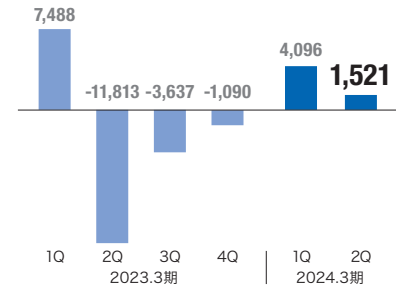
### 収益 Revenue



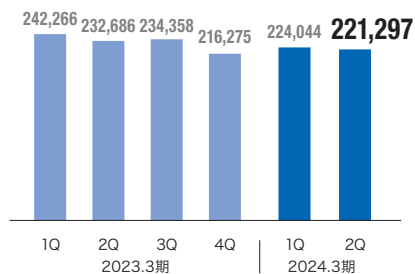
### 税引前利益 Profit before tax



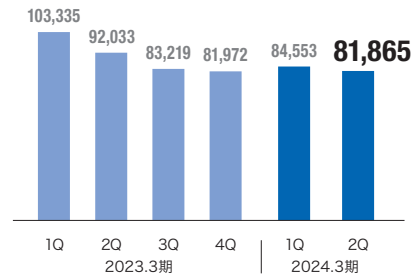
### 親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent



### 資産合計 Total assets



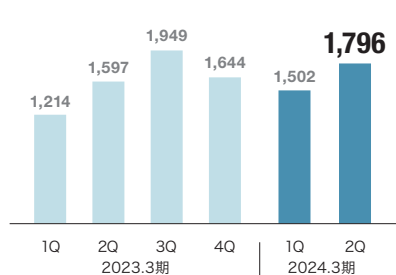
### 資本合計 Total equity



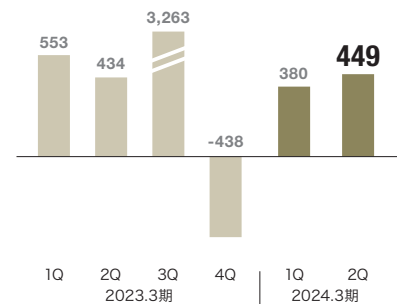
## セグメント別税引前利益 Profit before tax by segments

(単位:百万円 / JPY in Millions)

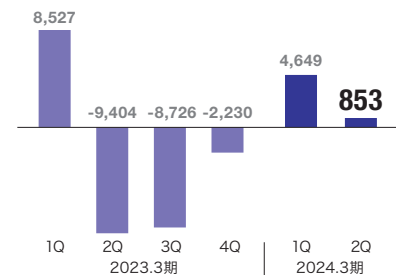
### PS Platform Solution



### LTI Long-term Incubation



### GII Global Investment Incubation



## 5か年中期経営計画の達成に向け、“DG FinTech Shift”戦略が進捗

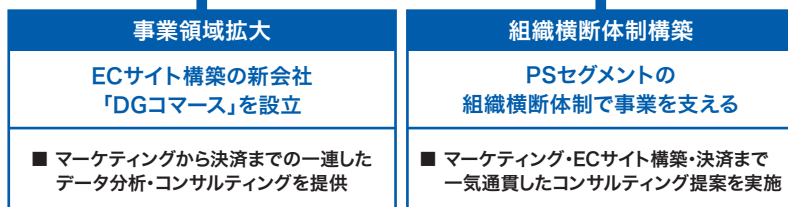


### (株)システムインテグレータ<sup>※1</sup>のECサイト構築事業を共同出資により子会社化

決済事業の入口となるECビジネスへ事業領域を拡大、次世代テクノロジーへアップデート



グループ横断で、収益多層化 / リカーリング化 / 取扱高増加 を実現



#### 次世代テクノロジー準拠

#### 次世代決済APIを提供開始

- ECサイトの決済サービス実装方式として「OpenAPI」対応を開始
- 最短の開発期間で最多決済手段を利用可能に

ECサイトへの決済サービス導入開発期間  
**10分の1~15分の1<sup>※2</sup>**

実装予定の決済手段  
**30種類以上<sup>※3</sup>**

※1 (株)システムインテグレータ:ECサイト構築パッケージの累計導入数1,100本の実績を持つ、ECシステム事業のパイオニア

※2 当社従来比 ※3 2023年12月末までに対応を予定

## 事業パートナーとのアライアンス・協業を中心にフィンテック領域の事業を更に拡大

戦略パートナーとの  
取り組み

りそなグループ

医療機関のDX推進・キャッシュレス化を促進する医療業界特化型決済サービスを共同開発

クレジットカード各社

事業パートナーとの取り組みを軸として、B2B決済領域の取扱いが順調に拡大

次世代  
テクノロジー

暗号資産管理  
サービス

野村グループ出資のカスタディサービス会社Komainuと当社子会社のCrypto Garageが資本業務提携、国内事業展開に向け協業開始



## “Earthshot”

投資先のESG経営支援やESGスタートアップへの投資を  
起点とし持続可能な社会の実現を目指す

### 日本初のシードアクセラレーターOpen Network LabのESG投資

2010年に開始したOpen Network Labは、Earthshotファンドと連携しESG投資を強化

Open Network Lab・ESG1号“Earthshotファンド”では、当社で運営しているシードアクセラレーター「Open Network Lab」(以下Onlab)と連携し、Onlabの参加企業やサステナビリティに関連する企業を中心に、将来性が見込まれるスタートアップ企業への投資と、投資実行後の成長性の高い投資先へのフォロー投資を行っています。

この度、本ファンドを通じサステナビリティに関連するスタートアップ企業へ新たに投資を行いました。多様な投資先支援リソース及びネットワークを活用し、投資先事業等の企業価値向上に向け支援してまいります。

- ✓ これまでに140社を超えるスタートアップ企業を支援
- ✓ 投資先にグローバル基準のESG経営強化プログラムを提供
- ✓ 環境大臣賞受賞のPirikaをはじめとする、多数のESG関連スタートアップの投資実績



サステナビリティ関連の新規投資先



### Demo Dayにてカーボンオフセットの取り組みを推進

Open Network Lab 27th Batch DemoDay(10/20実施)にて、当社初のカーボンニュートラルなイベントを目指し、投資先スタートアップ企業と共に、各種取組みを実施しました。今後も気候変動対策をはじめ持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティに関する取組みを推進してまいります。



CO2排出削減に向けた取組み

節電

空調設定、エレベーター制限等

廃棄物の削減

印刷物の制限、製作物の再利用等

エコ製品の活用

プラントベースフードの提供

オフセットに向けた取組み

想定排出量0.5トンCO<sub>2</sub>をオフセットすべく、投資先Linkhola社のサービスを活用し、出通勤移動に係るCO<sub>2</sub>排出量を可視化・削減しオフセットに活用

## ◆ 連結財政状態計算書(要約) Consolidated statement of financial position

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2023.3期末	2024.3期2Q末	前期末比
<b>流動資産</b>	<b>Current assets</b>	<b>144,776</b>	<b>148,860</b>	<b>+4,083</b>
現金及び現金同等物	Cash and cash equivalents	53,335	49,273	-4,062
営業債権及びその他の債権	Trade and other receivables	20,765	23,257	+2,492
営業投資有価証券	Operational investment securities	67,676	73,924	+6,248
<b>非流動資産</b>	<b>Non-current assets</b>	<b>71,498</b>	<b>72,437</b>	<b>+939</b>
有形固定資産	Property, plant and equipment	16,613	16,149	-464
持分法で会計処理されている投資	Investments accounted for using equity method	25,922	26,106	+185
その他の金融資産	Other financial assets	14,245	14,772	+527
<b>資産合計</b>	<b>Total assets</b>	<b>216,275</b>	<b>221,297</b>	<b>+5,022</b>
<b>流動負債</b>	<b>Current liabilities</b>	<b>94,780</b>	<b>75,353</b>	<b>-19,427</b>
社債及び借入金	Bonds and borrowings	38,745	28,586	-10,160
営業債務及びその他の債務	Trade and other payables	48,877	41,065	-7,812
<b>非流動負債</b>	<b>Non-current liabilities</b>	<b>39,522</b>	<b>64,079</b>	<b>+24,556</b>
社債及び借入金	Bonds and borrowings	13,957	37,330	+23,373
その他の金融負債	Other financial liabilities	9,127	8,275	-852
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	14,717	16,797	+2,080
<b>負債合計</b>	<b>Total liabilities</b>	<b>134,303</b>	<b>139,432</b>	<b>+5,129</b>
<b>資本合計</b>	<b>Total equity</b>	<b>81,972</b>	<b>81,865</b>	<b>-107</b>
親会社の所有者に帰属する持分	Total equity attributable to owners of parent	80,030	79,552	-478
資本金	Share capital	7,830	7,840	+10
資本剰余金	Capital surplus	6,229	6,345	+116
自己株式	Treasury shares	-6,293	-11,156	-4,863
その他の資本の構成要素	Other components of equity	1,650	1,973	+323
利益剰余金	Retained earnings	70,614	74,551	+3,937
非支配持分	Non-controlling interests	1,942	2,313	+371
<b>負債及び資本合計</b>	<b>Total liabilities and equity</b>	<b>216,275</b>	<b>221,297</b>	<b>+5,022</b>

# 会社情報

(2023年9月30日現在)

## 会社概要

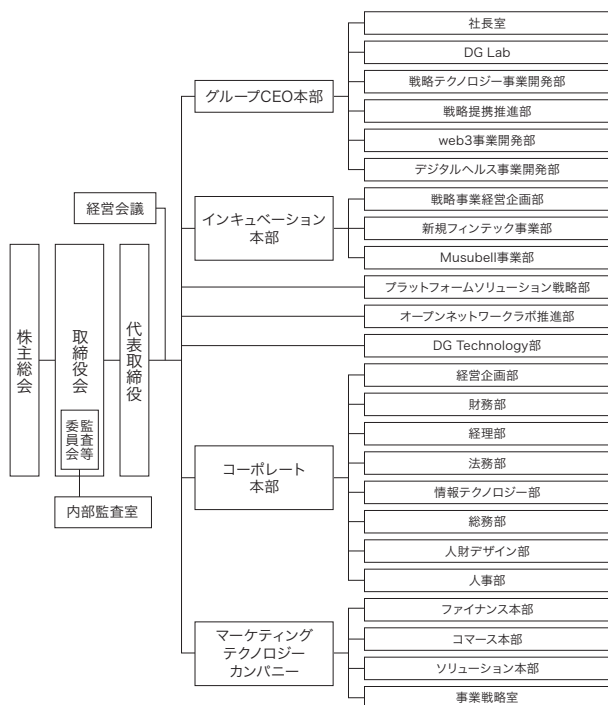
商号 株式会社デジタルガレージ  
設立 1995年8月17日

## 役員

代表取締役	林 郁	社外取締役	坂井 眞
取締役	踊 契三	社外取締役	大村 恵実
取締役	大熊 将人	社外取締役	尾崎 優美
取締役	伊藤 穰一	取締役(監査等委員)	六彌太 恭行
取締役	篠 寛	社外取締役(監査等委員)	井上 準二
取締役	田中 将志	社外取締役(監査等委員)	牧野 宏司
		社外取締役(監査等委員)	内野 州馬

## 組織図

(2023年12月1日現在)



## 株式情報

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 448,688個  
発行済株式総数: 47,614,800株 株主総数: 4,435名

## 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,862,300	15.29
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,713,500	12.73
(株)ジェーシーピー	2,364,500	5.27
(株)電通グループ	2,348,000	5.23
(株)日本カストディ銀行(信託口)	1,575,138	3.51
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,390,739	3.10
OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD.	1,100,000	2.45
(株)りそなホールディングス	952,000	2.12
東芝テック(株)	949,500	2.12
STATE STREET BANK CLIENT OMUNIBUS OM04	879,623	1.96

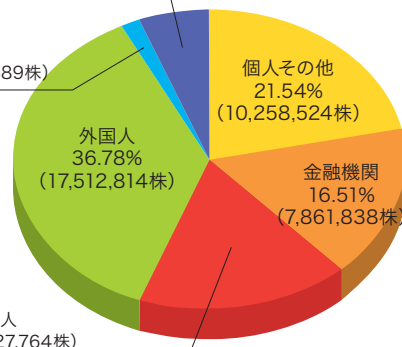
\*持株比率は自己株式(2,739,371株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況

自己名義株式  
5.75%(2,739,371株)

証券会社  
1.71%(814,489株)

その他国内法人  
17.70%(8,427,764株)



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 毎年3月31日

中間配当を行う  
場合の基準日 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行(株)

郵便物送付先  
(お問い合わせ先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店及び  
全国各支店で行っております。

住所変更等の  
お申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設  
されました株主様は、特別口座の口座管理機能である  
三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の  
支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)に  
お申出ください。

公告方法 電子公告により行います。ただし事故その他やむを得ない  
事由によって電子公告による公告を行うことができない  
場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告掲載  
サイトアドレス <https://www.garage.co.jp/ja/ir/public-notice/>

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

銘柄コード 4819

 **Digital Garage**

株式会社デジタルガレージ

本社 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 デジタルゲートビル

本社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコDGビル

【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111

【当社Webサイト】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

## Webサイトのご案内

当社WebサイトではIR情報のほか、デジタルガレージグループに  
関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト <https://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>



## DG Financial Technology

決済とデータを融合したグループ戦略「DG  
FinTech Shift」を牽引する株式会社DGフィン  
シャルテクノロジーの情報を発信しております。



DG FT Webサイト <https://www.dgft.jp/company/>

